

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	いわき市	
施 設 名	いわき芸術文化交流館	
助成対象活動名	公演事業・普及啓発事業	
内定額（総額）	26,955	(千円)
公 演 事 業	16,532	(千円)
人材養成事業	0	(千円)
普及啓発事業	10,423	(千円)

(2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	DULL-COLORED POP福島三部作・第一部「1961年：夜に昇る太陽」	2018年7月7日、8日	出演：東谷英人、大原研二、塚越健一、百花亜希 他	目標値	272
		小劇場		実績値	299
2	ナイロン100℃「鞆丸」	2018年8月11日、12日	出演：坂井真紀、三宅弘城、みのすけ、赤堀雅秋 他	目標値	898
		中劇場		実績値	412
3	小林研一郎指揮 日本フィルハーモニー交響楽団 in いわき	2018年9月24日	出演：小林研一郎、徳永二男、日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,426
		大ホール		実績値	1,011
4	シリーズ♪アリオスで愉しむアンサンブル	2018年4月20日、7月17日	出演：ジェラルド・プーレ、馬淵清子、早川りさ子 他	目標値	242
		音楽小ホール		実績値	384
5	第8回 NHK交響楽団 いわき定期演奏会	2018年11月18日	出演：ジャンンドレア・ノセダ、ナレク・アフナジャリン、NHK交響楽団	目標値	1,308
		大ホール		実績値	1,008
6	サイトウ・キネン・オーケストラ プラス・アンサンブル	2019年1月30日	出演：サイトウ・キネン・オーケストラ プラス・アンサンブル	目標値	702
		大ホール		実績値	768
7	たいらじょう×宮田大アンサンブル「SALOME/サロメ」	2019年3月16日	出演：たいらじょう、宮田大 他	目標値	324
		中劇場		実績値	377
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	5,172
				実績値	4,259

(2) 平成30年度実施事業一覧

【普及啓発事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	第4回いわき文化春祭り	2018年5月19日、20日	出演：いわき市文化協会 他	目標値	10,000
		大ホール 他		実績値	10,000
2	いわきアリオス・まちなか連携プロジェクト	2018年5月26日	出演：弦楽四重奏団「ヴィルタス・クワルテット」 他	目標値	1,200
		2018年10月6日、7日 文化センター大ホール 中劇場		実績値	2,653
3	こどもの劇場2018・秋「ピノッキオ」	2018年10月14日	出演：高田恵篤、KONTA、辻田暁、森ようこ 他	目標値	294
		中劇場		実績値	418
4	アリオス・ワンコインコンサート	2018年5月11日、10月11日	出演：武久源造、北谷直樹 他	目標値	732
		音楽小ホール		実績値	612
5	第21回、第22回たんけんアリオス	2018年7月22日、12月24日	作・演出：大信ペリカン 出演：鈴木優斗、佐藤隆太 他	目標値	180
		中劇場		実績値	267
6	おでかけアリオス&コンサート	2018年5月～2019年1月	出演：田村緑、渡辺亮 他	目標値	2,000
		市内小・中学校小劇場		実績値	3,663
7	アリオス・キッズルームシアター	2018年4月21日～2019年3月20日	出演：馬淵昌子、丸山泰雄、ジェラルド・プーレ 他	目標値	80
		キッズルーム		実績値	210
8	リージョナル・シアター2018 いわきアリオス演劇部	2019年3月9日、10日	演出：大信ペリカン、三浦直之 出演：森本華、多賀麻美、田中美希恵 他	目標値	287
		小劇場		実績値	311
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	14,773
				実績値	18,134

【妥当性】

自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

地域における劇場・音楽堂は、文化芸術が持つ人の心を豊かにし、他者との相違点を認め合うことができる力を信じ、本市で生活を送る市民に対し、誰もが平等に文化芸術に触れられる場を創出し、生きる力を育み、本市で生活を送る嬉しさや喜び、そして誇りが持てるよう、市民の生活支援を担う公的施設である。特に、少子化が進む時代の中で、児童虐待、子どもの貧困、いじめ、不登校など、子どもを取り巻く地域社会の在り方が問われている。地域の劇場・音楽堂として、「地域で子どもを育てる環境の充実」を目指し、具体的には「子どもの文化芸術体験活動」を広く、深く、豊富に提供することを重視した事業展開を行っていく。このミッションを達成するために当館では、市民と積み重ねた検討の経過を踏まえ、ハード・ソフトの両面に関するコンセプトを定めている。

【5つのコンセプト】

1. 気軽に集い、ふれあい、楽しめるコミュニティであること
2. 自分を磨き、新たな価値を生み出す創造的活動拠点であること
3. みずみずしい文化芸術に触れ、地域への誇りをともに育む場であること
4. まちとつながり、まちを感じる賑わいの空間であること
5. 地域における公共劇場の新しいスタンダードであること

以上のコンセプトを柱に、市民が世界の窓に触れるような鑑賞公演だけではなく、当館まで様々な理由で足を運ばない方のところへ実演芸術家とともに出かけコンサートやワークショップを開催するアウトリーチ事業や地域を題材にした演劇作品を市民と創出する事業の実施。街なかとの連携事業の実施、市民参画で子どもを対象にした当館を子どもの遊び場にする事業を毎月実施するなど、様々な実演芸術を用いて、市民生活の支えとなる事業を当初の予定通り実施することができた。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

本市の中山間地域での人口減少は急速に進み、その影響により、地域コミュニティの変化はさまざまな形で加速的に進んでいる。特に中山間地域における小・中学校の存在は、地区のコミュニティ維持拠点的な意味合いも大きく、統廃合により学校がなくなった集落への配慮は地区全体の課題となっている。一方、都市部および沿岸部のコミュニティにおいては、震災と原発事故により予想外の影響を受けた。原発事故の避難指定自治体からの避難者の移住による人口増加、とりわけ新興住宅地を有する地域では、世帯数の増加が顕著である。沿岸部の地域は津波被災によって居住エリアに変化が生じ、またそのことによって世帯構成人数が減少するなどの変化が起きた。

このような地域課題に対して、文化芸術の分野からどのようなことができるかを、現在の最重要課題ととらえ、アウトリーチ事業を中心にさまざまな事業を展開している。それは単なる芸術普及啓発の範疇を超えることだけでなく、本市のさまざまな部署（教育委員会・保健福祉担当部局・地域振興担当部局等）と連携し、地域住民らによるコミュニティ（自治会・青年会・青年団等）への綿密な聞き取りからスタートさせ、ニーズを押し量った上での事業展開を実践している。

当館は設立当初から今日に至るまで、ステークホルダーたる市民を第一に考え、様々なアプローチを続けている。この活動により築き上げた信頼と人のネットワークは開館から11年が経過した当館にとって、何にも代えがたい財産であり、強みとなっているはずである。コミュニティへアプローチする担当部署、当館と人、人と人とのつながりを醸成する広報専門部署の設置と、そのミッションに応えるべく配置されている専門スタッフ、そして何よりもあたたかいまなざしを開館以来向けてくださっている、市民の皆さんの当館に対するご理解・ご協力があって、現在の劇場・音楽堂運営が成り立っている。

【有効性】

自己評価

目標を達成したか。

H26年度～H28年度の3年間の事業アンケートの実績をもとに目標値を設定。

【H26年度からH28年度の事業アンケート集計表】

どの項目においても満足度は90%近くを得ている。その中でも「大変満足している」の数値を指標とし、目標値を設定する。

平成26年度合計(平均)				平成27年度合計(平均)				平成28年度合計(平均)			
	大変満足している	満足している	満足度	大変満足している	満足している	満足度	大変満足している	満足している	満足度		
1 公演内容の満足度	79.1	19.9	99.0	76.1	22.7	98.8	77.5	21.2	98.7		
2 情報入手、チケット予約・購入のしやすさ	45.3	45.9	91.2	49.0	43.8	92.8	50.5	41.9	92.4		
3 年間ラインナップ	28.7	58.8	87.5	32.2	54.6	86.8	31.4	56.6	88.0		
4 総合的なわきアリスに対する満足度	40.6	55.6	96.2	43.0	53.4	96.4	39.9	55.9	95.8		

【公演事業の目標値設定】

1. 公演内容の「大変満足している」の目標値を80%とする
2. 公演情報の入手、チケット予約・購入のしやすさの「大変満足している」の目標値を50%とする
3. 公演の年間ラインナップの「大変満足している」の目標値を35%とする
4. 総合的な当館の「大変満足している」の目標値を40%とする。

【達成状況】

1. 公演内容の「大変満足している」の目標値を80%とする
→結果：79.0% 達成率：98.8%
2. 公演情報の入手、チケット予約・購入のしやすさの「大変満足している」の目標値を50%とする
→結果：48.3% 達成率：96.6%
3. 公演の年間ラインナップの「大変満足している」の目標値を35%とする
→結果：34.8% 達成率：99.4%
4. 総合的な当館の「大変満足している」の目標値を40%とする。
→結果：43.8% 達成率：109.5%

【アウトリーチ事業やワークショップ等事業の目標値設定】

1. 実施内容の「とてもよかった」の目標値を80%とする
2. また参加したい（体験したい）かの「とても参加したい」の目標値を80%とする

【達成状況】

【アウトリーチ事業やワークショップ等の事業】の目標を以下2つとする。

1. 実施内容の「とてもよかった」の目標値を80%とする
→結果：87.4% 達成率：109.2%
2. また参加したい（体験したい）かの「とても参加したい」の目標値を80%とする
→結果：66.0% 達成率：82.5%

【効率性】

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

【鑑賞事業について】

実演芸術のジャンルによって仕込みやリハーサルにかかる期間は異なるが、どの事業も当初から大きな変更なく実施できてた。実演芸術の中でも演劇は劇場が変わると仕込みの内容や、演出が変更になる場合もあるため、音楽等の事業に比べて、期間を長く設けている。

それにより、時間に追われて作業を進めることなく、市民に最高の状態で実演芸術を届けるため、実演芸術家がしっかりと作品に向き合う時間を確保することができている。

【人材養成事業や普及啓発事業について】

市民が参加する事業においては、どれだけ意義のある事業であっても、参加者が集まらなければ意味がなく、参加者にとって適正な期間や時期を見定める必要がある。

人材養成事業は、例えば高校生なら学校の年間スケジュールや、部活動の大会日程を事前に調べて日程を組む等、メンターゲットが参加しやすい期間を設定している。

普及事業においても、対象者が参加しやすい時間の設定や安価な料金設定をするなど、実演芸術が自身の日常生活の一部として浸透していくことを目指し実施している。

【事業費について】

平成30年度の予算策定時における収支目標が公演事業は73.4%、人材育成事業は33.3%、普及啓発事業は27.8%であったが、最終的な決算では公演事業が69.2%、人材養成事業が32.6%、普及啓発事業が30.8%と、ほぼ目標に近い数字となっている。

公演事業は目標値が高いため、少し目標に届かなかったが、その分を普及啓発事業で補うことができている。

収支のバランスだけでなく、各事業における事業費は、期間や実演芸術家への報酬を事前にしっかりと練り込むことで、余計な支出、あるいは不足がないように、適切な設計ができている。

以上のことから、事業期間や事業費は適切に設定されており、かつ、当初の計画通りに実施できたと考えられる。

【創造性】

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

当館は開館以来、事業（ソフト面）や施設（ハード面）に対し多くの賞を受賞している。

【第33回有馬賞】

平成25年には、国内最高峰の実演芸術団体であるNHK交響楽団より、「第33回有馬賞」を受賞した。当館のアウトリーチ事業「おでかけアリオス」等が、震災復興への貢献や、音楽の普及に寄与してきたことが評価され、開館当初から業務提携を結び、東北唯一の定期演奏会を実施してきたことで、NHK交響楽団の活動に貢献したことが、受賞の理由となっている。

【地域創造大賞（総務大臣賞）】

平成26年には、文化芸術の振興による創造性豊かな地域づくりの貢献が評価され、（財）地域造像より「地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞。

【文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）】

平成26年には、行政が住民、企業や大学と協力し、地域の特色を活かした文化芸術活動によって、地域振興を図り、顕著な成果をあげたとして、「文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）」を受賞。

【キッズデザイン賞2017】

平成29年には、宮崎県を拠点に活動する実演芸術団体「んまつーパス」との協働により、子どもの豊かな感性や創造性に寄与する活動等で成果をあげたとして、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会より「キッズデザイン賞2017」を受賞した。

これらの受賞歴が示すように、当館が地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮した事業を展開していることを、対外的にも評価されてきた。それは開館から今まで、様々な事業を高い水準で実施してきたことが要因としてあげられる。

鑑賞事業においては、常に芸術性の高さ、内容の独創性を念頭に置いて実演芸術団体を選び、市民の「世界への窓」たることを目指してきた。

一方で、アウトリーチやワークショップ、市民と一緒に作りあげる創造事業では、常に市民の目線に立ち、一方的に文化芸術を押し付けるのではなく、本市で育まれてきた人や土地を活かした事業を目指してきた。

文化芸術における最高峰の体験と、本市に根差した文化芸術の育成を同時に行うことで、地域の文化拠点としての役割を存分に発揮することができたと考えている。

		表彰名	表彰者	受賞の理由	受賞者
ソフト面における受賞	①	第33回有馬賞 受賞：平成25年10月5日	NHK交響楽団	おでかけアリオス等による震災復興への貢献。音楽の普及、NHK交響楽団への貢献。	いわき市
	②	地域創造大賞：総務大臣賞 受賞：平成26年1月17日	(財)地域創造	文化芸術の振興による創造性豊かな地域づくりの貢献。	いわき市
	③	文化庁長官表彰 (文化芸術創造都市部門) 受賞：平成26年3月31日	文化庁	行政が住民、企業や大学と協力し、地域の特色を活かした文化芸術活動によって、地域振興を図り、顕著な成果をあげた。	いわき市 ※本庁舎ロビーに展示
	④	キッズデザイン賞2017 受賞：平成29年度	特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会	子供の豊かな感性や創造性に寄与する活動等を行い、成果をあげた。	いわき芸術文化交流館 宮崎大学高橋るみ子研究室 んまつーパス
ハード面における受賞	表彰名		賞の内容		受賞者
	⑤	照明普及賞 受賞：平成21年5月21日	照明学会	照明学会により優秀な照明施設に授与される賞	いわき市 佐藤尚巳 湯山康樹
	⑥	日本建築家協会優秀建築選 受賞：平成21年度		優秀な建築作品に授与される賞	佐藤尚巳建築研究所 清水建設株式会社
	⑦	国際建築賞 2010 受賞：平成22年5月		世界各地の最先端の優れた建築デザインに贈られる賞で、世界的に最も名誉ある賞のひとつ	佐藤尚巳建築研究所 清水建設株式会社
	⑧	劇場技術者協会 建築賞優秀建築賞：平成22年7月		アメリカの劇場技術者協会が世界規模で優れた劇場施設に贈る賞。（国内3施設目）	いわき市
	⑨	北米照明学会照明賞優秀賞 受賞：平成22年7月5日		芸術的、科学的見地から優れた照明デザインに与えられる、世界的に権威のある賞のひとつ	佐藤尚巳 湯山康樹
	⑩	第51回 BCS賞 受賞：平成22年11月15日		創立100周年を迎える「建築業協会」が、毎年我が国の優れた建築物に贈る賞。国内の建築関係者からも毎回大きな注目を集める権威ある賞	建築主：いわき市 設計：佐藤尚巳建築研究所・他 施工：清水建設株式会社・他
⑪	第31回福島県建築文化賞 優秀賞 受賞：平成26年度		福島県において、地域の周辺環境に調和し、かつ景観上優れている建築等に贈られる賞	いわき市	

【受賞一覧】

【創造性】

自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

当館では毎年、市民による様々なジャンルの実演芸術団体が集ういわき市文化協会との協働で、「いわき文化春祭り」を実施している。平成30年度は110団体の約1,100人が日頃の文化芸術活動の成果を持ち寄り、2日間で約10,000人の観客を楽しませた。これは当館大ホールでの実演芸術の発表の場だけでなく、館内の共有スペースでの実演芸術以外の展示や、当館に隣接する平中央公園での出店や野外ステージ等、あらゆる市民が参加できる事業である。

少子化により、地域の文化芸術を担う子どもの数が減り、市民による文化芸術団体は後継者不足が深刻化している。また、自分たちが日々励む文化芸術の成果を多くの方に観ていただきたと考えてはいるが、公演や発表会の準備、当日の運営等も、高齢化が進む文化芸術団体では年々厳しくなっている現状がある。

それらの課題を当館が地域の文化拠点として解決するため、若い世代に文化芸術の素晴らしさを気軽に体験してもらい、かつ、当館のスタッフが全面的にサポートすることで、市民が日頃の文化芸術活動を自由に発表できる場として、「いわき文化春祭り」は市民から大きな支持を得ている。

また、子どもや子育て世代が集う「アリオス・キッズルームシアター」では、市民のアイデアや能力を活かした事業を継続的に実施することで、そのノウハウを蓄積している。当館を子どもたちの「新しい広場」にするため、当館の「キッズルーム」を利用した、子どもとご家族と一緒に楽しめる事業であるが、実演芸術家の演奏に市民の朗読を加えたり、保育士の資格を持つ市民に子どもたちの見守りを依頼する等、実演芸術家と市民が力を合わせ、独創性のあるプログラムを提供している。

「たんけんアリオス」や「いわきアリオス演劇部」といった事業では、小学生から高校生までの子どもたちに舞台の裏側や、創作の過程を体験してもらうことで、舞台芸術に関わる人材の育成に取り組んでいる。参加者には、当館のスタッフが持つ技術や知識を分かりやすく伝授し、またプロの実演芸術家のノウハウを活かしながら提供することで、毎年参加者が定員に達する当館の大事な事業の1つとなっている。

【持続性】

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

【運営方式について】

事業運営を「市の直営」、施設維持管理を「PFI事業者による管理」とする併用方式を用いている。

【雇用について】

公共性・公平性の視点に立った利用者サービスの円滑な推進とともに、市の直営方式に固有の庶務・財務事務を適正に処理し、専門スタッフを中心とした事業の推進を補佐するため、市の正規職員（10名）を配置し、事業展開の有効性の視点から、企画・広報・舞台芸術に関しては、各分野において専門的かつ高度な知識・経験を有する優れたスタッフを、全国から招聘・募集し、嘱託職員（34名）を雇用。

◎当館運営方式及び雇用形態によるメリット

◇市の正規職員の配置により、市特有の事務（財務、庶務）への対応や、関係部署との円滑な連絡調整が可能

◇PFI事業者との連携体制により、舞台設備の補充や設備機器の補修等への即時対応が可能

◇専門分野スタッフを嘱託職員で雇用することで、正規職員のような人事異動が無くなり専門性の継承が確保される

◇嘱託職員として雇用した専門スタッフは、人事評価を行った上での単年度契約更新を基本としており、職員の質の維持が可能

【収益基盤と財源について】

市の直営であることから、館の運営が安定した状態にあるといえるが、常に、事業運営上の本旨に重点を置きつつ、経費縮減と自主財源の獲得に努めている。

【劇場・音楽堂等間のネットワークの形成について】

他館からの職員研修の受け入れ、当館自主事業での情報交換会の実施、他館との連携事業の実施など、普段より全国の劇場・音楽堂とのネットワーク強化を目指し運営している。

【教育機関とのネットワーク形成】

小中学校へのアウトリーチ事業の実施や、高等学校の文化部への支援活動、音楽大学をはじめとする大学等からのインターンシップの受け入れなど、教育機関とのネットワーク強化にも力を入れ運営している。